

JAPICが次世代 林業シンポを開催

日本プロジェクト産
業協議会(JAPIC)、
会長・宗岡正二(新日鉄
住金会長)は17日、次
世代林業シンポジウム
を都内の鉄鋼会館で開
催した。写真。
同シンポはJAPIC
Cの森林再生事業化委
員会(委員長・米田雅子



慶應義塾大学特任教
授)が主催した。約15
0人が参加し、「九州地
域モデルへの挑戦」を
テーマに、熊本県五木
村における取り組みな
どが報告された。

JAPICは630
0畝に及ぶ五木地域森
林整備推進協定の運営
に参画し、地域モデル
として支援することを
決めている。

森林整備をステツプアップ

次世代林業シンポジウム開催 JAPIC

日本プロジェクト産
業協議会(JAPIC)、宗
岡正二(会長)は17日、東
京・中央区の鉄鋼会館で
「次世代林業シンポジウ



ム」を行った。写真。
冒頭、森林再生事業委
員会の米田雅子委員長
(慶應義塾大学特任教授)
は、「JAPICは、熊

本県五木地域森林整備推
進協定の運営に参加し、
次世代の地域モデルとし
て支援している。今日は
民国連携による森林整備
推進協定をいかにステツ
プアップしていくか議論
していきたいかと思ってい
る」と趣旨説明を行った。

また、林野庁森林整備
部の本郷浩二部長は「熊
本のモデルが全国のモデ
ルケースになればと思
う。熊本県の皆様はどう
いうプロセスを進めてい
ったか、他県の方々に説
明し情報共有してもらい
たい」と挨拶した。

同シンポジウムでは、
九州地域モデル構想につ
いて、住友林業山林環境
本部の片岡明人副本部長
が「五木地域森林整備推
進協定の現状と可能性」、
日本製紙原材料本部長付
の松本哲生部長は「五木
地域へのJAPICから
の提案について」、王子

木材緑化国内営業本部林
業部の荒井均部長は「地
域モデルへの期待」、イ
ワフジ工業の及川雅之社
長は「九州における先進
的な林業機械について」、
中国木材堀川保幸会長は
「国産材時代に向けて川
下から川上への戦略(変
化に対応する中国木
材)」、九州経済連合会
産業第一部の加来英彦次
長は「九州木材産業のア
ジア展開について」それ
ぞれ説明を行った。

また、「九州地域モデ
ルの実現化を目指して」
をテーマにパネルディス
カッションも行われた。

JAPIC 次世代林業シンポ開催 九州モデル構想で議論

日本プロジェクト産
業協議会(JAPIC)、
会長・宗岡正二(新日
鉄住金会長)の森林再
生委員会(委員長・米
田雅子・慶大特任教授)
は17日、東京・茅場町
の鉄鋼会館で「次世代
林業シンポジウム」九
州地域モデルへの挑戦
」を開催し、民国連
携による森林共同施策
協定のステツプアップ
に向けた課題、可能性

を議論した。
米田委員長は「JAPICは熊本県五木地
域森林整備協定(63
00ha)の運営に参
画し、次世代林業シス
テムの初めてのモデル
として支援しようとし
ています」と活動方針
を示した。五木地域は
JAPIC委員の日本
製紙、住友林業、王子
木材緑化が森林を所
有。委員の中国木材も
森林を購入している。



シンポジウムでは九
州地域モデル構想につ
いて、JAPIC会員
などが提案などを行っ
た。また、九州地域モ
デルの実現に向けて、
大学、林野庁、熊本県
住友林業、日本製紙の
関係者らが議論した。
次世代林業システム
では、広範囲な企業
力を結集し、シームレ
スな広域の森林整備を
進めている。木材カス
ケード利用により、国
産材の自給率50%を目
指している。森林再生
事業化委員会は、産
業界を中心に林野庁・国
土交通省・
経済産業省
と連携した
日本発の産
学官プラッ
トフォーム
として、国
産材マーク
の創設など
積極的に活
動してい
る。